

## 財務・非財務ハイライト

## 財務ハイライト (2016年度実績)

## のれん等償却前ROE

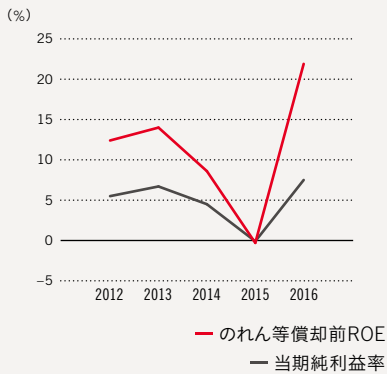
21.9%

当期純利益率<sup>※1</sup>

7.5%

当期純利益率の向上により、ROEの向上を図る。

※1 のれん等償却前・対酒税込み売上高



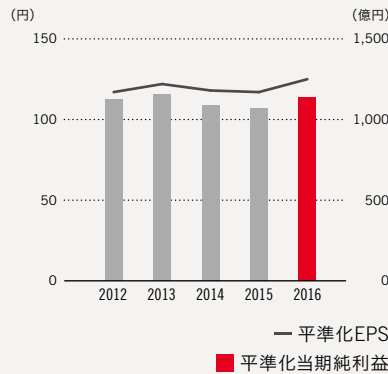
## 平準化EPS

125円(+6.8%)

## 平準化当期純利益

1,138億円

収益力の改善により、EPSの成長を図る。



## 連結営業利益

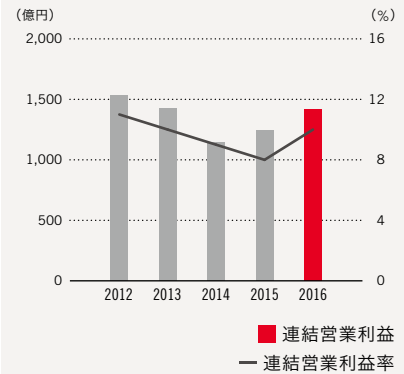
1,418億円

連結営業利益率<sup>※2</sup>

9.6%

事業の位置付けに応じた具体的な戦略を展開し、ビール事業+100億円、低収益事業+200億円を目指す。

※2 のれん等償却前・対酒税抜き売上高



## 営業CF(キャッシュ・フロー)

2,264億円

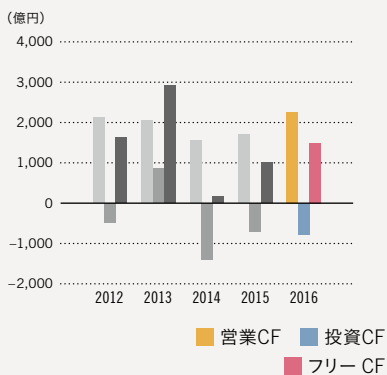
## 投資CF

775億円

## フリーCF

1,489億円

優先順位を明確にした資源配分、事業の収益性向上を通じた着実なキャッシュ・フローの向上を図る。



## 連結配当性向(平準化EPS)

31.2%

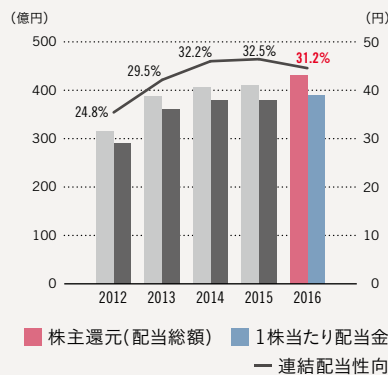
## 配当総額

431億円

## 1株当たり配当金

39円

平準化EPSに対する連結配当性向30%以上の配当により安定した株主還元を実施する。

純有利子負債<sup>※3</sup>

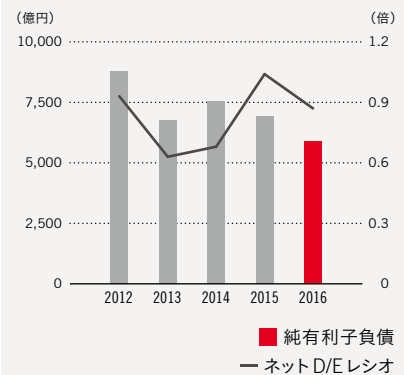
5,896億円

## ネットD/Eレシオ

0.87倍

財務柔軟性向上に向け着実に負債を返済する。

※3 有利子負債-現金及び預金-受入補償金等

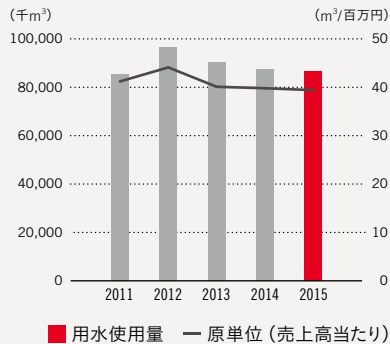


## 非財務ハイライト

### 用水使用量

**86,625千m<sup>3</sup>**

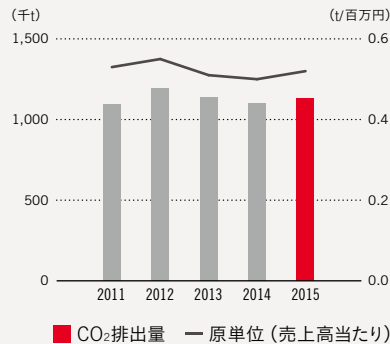
重要な原料である水資源を永続的に使うことを目指し、各地域の課題に応じた適切な水利用を進めています。製造拠点や原料生産地の水リスクの把握を実施し、節水や水源地の保全活動を継続しています。



### CO<sub>2</sub>排出量

**1,134千t**

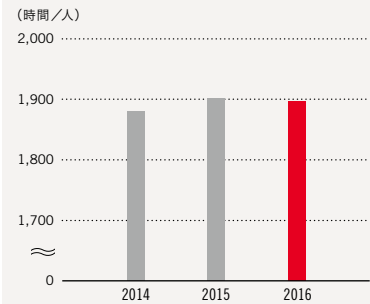
バリューチェーンのCO<sub>2</sub>排出量を地球の吸収可能量に抑えることを目指し、取り組みを進めています。従来の省エネルギー活動に加え、再生可能エネルギー利用の拡大などの取り組みも強化していきます。



### 従業員1人当たりの総実労働時間<sup>※4</sup>

**1,896.5時間**

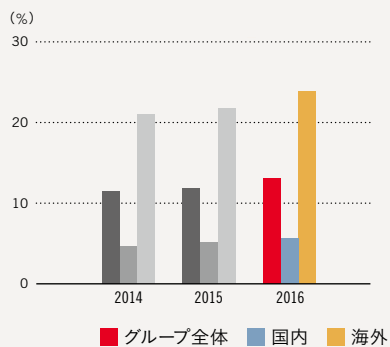
国内の従業員総実労働時間は、ほぼ前期並み。2017年からは「健康経営」の実現を目指し、従業員が柔軟な働き方ができる制度・施策を推進していきます。



### 女性マネジャーの比率<sup>※5</sup>

**13.1%**

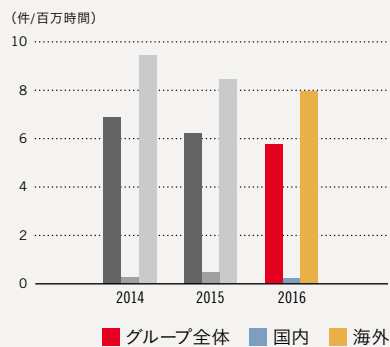
キリン(株)では、「キリングroup女性活躍推進計画(KWN2021)」に基づく計画的な育成、配置により、女性の執行役員、国内外グループ会社の社長、工場長が誕生。協和発酵キリンでは、女性管理職比率が7.1%に上がりました。



### 休業災害度率<sup>※5</sup>

**5.77件**

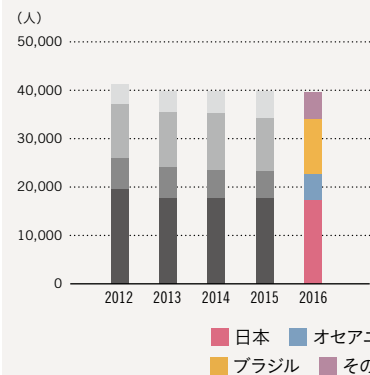
労働災害については、海外事業での安全衛生の取り組みが強化されたことにより、発生率が減少しています。



### 地域別従業員数

**39,733人**

地域別従業員の構成比は、この数年大きな変化はありません。



※4 対象範囲：(国内)キリンホールディングス、日本綜合飲料グループ(キリン、キリンビール、キリンビバレッジ、メルシャン)、協和発酵キリングroup

※5 対象範囲：(国内)キリンホールディングス、日本綜合飲料グループ(キリン、キリンビール、キリンビバレッジ、メルシャン)、協和発酵キリングroup (海外)ライオン、ブラジルキリン